

## 第6学年 社会科学習指導案

- 1 大単元名 新しい日本の国づくりを見つめよう  
小単元名 二つの戦争と日本・アジア

2 小単元目標

日清・日露戦争の経緯と、その背景にある国際状況を理解し、日本とアジア諸国との関係の変化についてとらえることができるようにする。また、国内の産業や社会の様子の変化もとらえることができるようにする。

関心・意欲・態度……日清・日露戦争の経過や国内の産業・社会の状況について調べようとする。

思考・判断……日本が条約改正に成功した理由が、明治の諸改革やアジアでの2度の戦争とどう関わっているのかを考えることができる。

技能・表現……二つの戦争の経過やその後の社会的な状況、人々の暮らしについて調べることができる。

知識・理解……二つの戦争と近代産業の発達、民主主義を求める動きの高まりの関連性がわかる。

国際社会での日本の地位の変化がわかる。

3 ひびき合う子どもたちをめざすための指導の工夫

【単元と指導】

本単元は、学習指導要領内容(1)キの「大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などを調べ、我が国の国力が充実に国際的地位が向上したことが分かること」を受けて、国内の近代化を実現した日本が国際的地位を高め、急速に世界の中で重要な役割を果たすようになったことへの理解を目指している。

明治時代に入り、政治や経済の状況、国際関係、社会の変化と、どれをとっても複雑で急速な展開を見せる。近代国家の体制が整い、国際社会の中での地位が向上していった時代であり、日清・日露戦争を経て条約改正を実現させていった。しかし、戦争によって朝鮮半島や中国に損害を与えたり、近代化を支える人々の生活が苦しくなり社会問題が生まれたりもした。

近代の日本の歴史は、このように表と裏の部分を持ち合わせている。戦争の経過や国内の状況(政治・人々の暮らし・産業など)、日本と外国との関係などの事実をもとに、子どもや女性、アジアの人々の視点からも、人々の願いを考えるようにしたい。

歴史は過去に起きた事象の積み重ねである。まずはどんなことがあったのかを知るところから始める。しかし、ただ年代順に並べて終わるのではなく、例えば為政者側からの出来事が、それを受ける一般の人々にどのような影響を及ぼしたのかというように、違う立場に立った見方を大切にしていきたい。

本単元では、日清・日露の二つの戦争を取り上げる。現代に生きる子供たちにとって、戦争は人の命を奪う恐ろしいもの、いけないものにとらえられていると思う。確かにそのとおりであるが、この二つの戦争に勝利したことにより、日本が国際社会で認められ、江戸時代から続いていた不平等な条約を改正できたことも事実である。そこで、「二つの戦争」について多方面から考えさせたいと考えている。事象に対して、一方向の見方だけでなく、様々な角度から見た考えを話し合う場

面を作っていきたい。自分と似ている考え方や、自分とは異なる見方・考え方を知り、自分の考えを再構築していくことがひびき合いではないかと考える。

板書には発言者の名前も記録し、児童の考えを明確にしていく。場合によってはネームプレートを使うなどして、発言していない児童の考えも確認していきたい。

話し合い活動の前に、わかったこと、思ったこと、考えたことなどをノートに書かせ、自分の考えを言うよりどこをとしたい。話し合い活動の後にも、本時のまとめとして、わかったこと、思ったこと、考えたことなどをノートに書かせる。そしてできるだけその考えをもとに、次の学習へとつなげていきたい。なかなか書けない児童については、最初はわかったことだけでもよいこととしたい。「もし自分がその時代に生きていたら」というような視点を与えながら、次第に感想や考えをまとめられるようにしていきたい。

#### 4 小単元指導計画 (13時間扱い)

時	学習活動	主な支援・留意点 (評価)・
本 時	<p>ノルマントン号事件について、話し合う。</p> <p>・日本人客、ドレイク船長、日本人乗客の家族や国民が、それぞれ何を思ったか話し合う。</p> <p>裁判の結果について話し合う。</p> <p>・ 不平等条約のせいだ。</p> <p>・ 条約を改正してほしい。</p> <p>日本の条約改正の取り組みを予想する。</p>	<p>・ 条約改正の必要性を焦点化させる。</p> <p>(関・意)(思・判)</p>
	<p>日本はどのようにして条約を改正したのだろう。</p>	
	<p>日本の条約改正の取り組みを調べる。</p>	
	<p>調べたことを発表しあう。</p>	<p>・ 条約改正への大まかな歩みを押さえる。</p>
	<p>日本の条約改正の歩みについて感想を話し合う。</p>	<p>・ 自分たちの予想にはなかった「戦争」に目を向けさせる。</p>
	<p>日清・日露戦争とはどんな戦争だったのだろう。</p>	<p>(思・判)(技・表)(知・理)</p>
	<p>日清・日露戦争について調べる。</p>	
	<p>調べたことを発表しあう。</p>	<p>・ 二つの戦争の原因・経過・結果を確認していく中で、さまざまな立場に立って考えさせる。</p>
	<p>二つの戦争について感想をまとめる</p>	<p>(思・判)(技・表)(知・理)</p>
	<p>二つの戦争について考えよう。</p>	
	<p>・ 多くの犠牲者を出す戦争には自分も反対する。</p> <p>・ 国の力を見せたことで国際社会で認められたのだから、戦争をした意味はあったと思う。</p> <p>・ 外国から対等に見られ、不平等条約を撤廃できたから、単純に悪いともいえないと思う。</p> <p>・ これからは命の奪い合いではない方法で、解決していきたい。</p>	<p>・ 考えの根拠となる資料を明らかにさせる。</p> <p>(関・意)(技・表)(思・判)</p>

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">この後、人々の暮らしや社会状況はどうなっていくのだろう。</div> <p>人々の暮らしや社会の様子の変化について調べる。</p> <p>調べたことを発表しあう。</p> <p>次の学習の方向性を話し合う。</p>	(関・意)(技・表)(知・理)
--	-----------------

## 5 本時について

### (1) 本時目標

日本と朝鮮の当時の社会背景や条約改正と関連付けながら、二つの戦争について様々な立場から考えることができる。

### (2) 本時展開

学習活動	指導上の支援・留意点 (評価)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">二つの戦争について考えよう。</div> <p>1 二つの戦争について様々な角度から考え、小グループで話し合う。</p> <p>2 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの犠牲者を出す戦争には自分も反対する。</li> <li>・日本と清、ロシアとの戦争なのに、朝鮮が戦場だったので、たくさんの被害を受けただろう。</li> <li>・朝鮮を併合し植民地にした。朝鮮の人々は土地を奪われ、日本語教育を受けさせられた。他の国の人たちも不幸にしてしまう戦争はよくない。</li> <li>・国の力を見せたことで国際社会で認められたのだから、戦争をした意味はあったと思う。</li> <li>・外国から対等に見られ、不平等条約を撤廃できたのだから、単純に悪いともいえないと思う。</li> <li>・これからは命の奪い合いではない方法で、解決していきたい。</li> </ul> <p>3 今日の話合いでわかったこと・思ったことなどをノ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたことをノートにまとめさせておく。</li> <li>・考えの根拠となる資料を明らかにさせる。</li> <li style="margin-left: 20px;">* 日清・日露戦争の戦場の図</li> <li style="margin-left: 20px;">* 戦死者・戦費のグラフ</li> <li style="margin-left: 20px;">* 条約改正の歩みの図 等</li> <li>・自国の立場だけで考えている子が多い場合や朝鮮の人々に目が向いていない内場合は、植民地支配されていた朝鮮の様子を書いた資料を提示する。</li> <li>・戦争に対する肯定的な意見と否定的な意見を整理しながら板書し、自分や友達の立場がとらえやすいようにする。</li> <li>・話し合われた内容が記述されるよう</li> </ul>

<p>ートに書く。 時間があれば何人が発表する。</p>	<p>に指導する。</p> <p>自分の考えと友達の考えを比べながら話し合いに参加しようとしているか。(関・意)</p> <p>戦争の経過やその後の状況をもとに、二つの戦争についてさまざまな立場から考えることができたか。(思・判)</p>
----------------------------------	---

(3) 本時展開 (当日案)

学習活動	指導上の支援・留意点 (評価)
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">二つの戦争について考えよう。</p> <p>1 二つの戦争について自分の考えを小グループで話し合う。</p> <p>2 二つの戦争について様々な角度から考え、全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの犠牲者を出す戦争には自分も反対する。</li> <li>・日本と清、ロシアとの戦争なのに、朝鮮が戦場だったので、たくさんの被害を受けただろう。</li> <li>・朝鮮を併合し植民地にした。朝鮮の人々は土地を奪われ、日本語教育を受けさせられた。他の国の人たちも不幸にしてしまう戦争はよくない。</li> <li>・国の力を見せたことで国際社会で認められたのだから、戦争をした意味はあったと思う。</li> <li>・外国から対等に見られ、不平等条約を撤廃できたのだから、単純に悪いともいえないと思う。</li> <li>・これからは命の奪い合いではない方法で、解決していきたい。</li> </ul> <p>3 今日の話し合いでわかったこと・思ったことなどをノートに書く。 時間があれば何人が発表する。</p>	<p>指導上の支援・留意点 (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたことをノートにまとめさせておく。</li> <li>・個々の考えを座席表にまとめたプリントを配布し、友だちの考えがわかるようにする。</li> <li>・考えの理由や根拠となる資料を明らかにさせる。</li> <li style="padding-left: 20px;">* 日清・日露戦争の戦場の図</li> <li style="padding-left: 20px;">* 戦死者・戦費のグラフ</li> <li style="padding-left: 20px;">* 条約改正の歩みの図 等</li> <li>・自国の立場だけで考えている子が多い場合や朝鮮の人々に目が向いていない内場合は、植民地支配されていた朝鮮の様子を書いた資料を提示する。</li> <li>・戦争に対する肯定的な意見と否定的な意見を整理しながら板書し、自分や友達の立場がとらえやすいようにする。</li> <li>・話し合われた内容が記述されるように指導する。</li> <li>自分の考えと友達の考えを比べながら話し合いに参加しようとしているか。(関・意)</li> </ul>

戦争の経過やその後の状況をもとに、二つの戦争についてさまざまな立場から考えることができたか。 (思・判)
---

## 6 実践を終えて

### (1) 「子どもとともに単元を作る」ことについて

本単元では子どもの疑問・感想・考えを出し合いながら、次の学習を組み立てていった。

導入に当たっては「ノルマントン号事件」を扱った。江戸時代に結んだ不平等条約により、多くの日本人犠牲者が出たこと、裁判の結果も納得のいくものでなかったことから、条約改正の必要性を焦点化した。そして、不平等条約改正に向けてどのようなことに取り組んだらいいか予想した上で、実際の取り組みを調べていった。そうすると、予想にはなかった二つの戦争（日清・日露戦争）も大きく関わっていることが分かった。条約改正と戦争との関わりに疑問が湧き、次は二つの戦争について詳しく調べていくこととした。調べたことを話し合った後、二つの戦争について感想や自分の考えをまとめ、本時の話し合いを迎えた。本時では、「歴史の中では条約改正の一因になったのは事実であるが、絶対にあってはならない戦争。でも勝ったことで国際社会で認められ……。亡くなった人やその家族、朝鮮の人々のことを考えると絶対にいけない。……。 」というように、一つの事象につきさまざまな立場から考えた。最後に、条約改正が成立した後の人々の生活や社会状況はどのようになっていったかを学習した。

### (2) 成果と課題

高学年になると発言が減少する傾向にあり、活発な話し合いにまではいたらなかった。しかし授業後のノートの記述を見ると、友だちの考えを聞いたりプリントで確認したりしたことにより、「 さんの意見を聞いてやっぱり だと思った」と自分の考えが強化されたり、「最初の考えとは少し変わって と考えるようになった」というように、自分の考えを再構築できた様子であり、ひびき合いが見られた。

さらにひびき合いを高めるため、「条約改正については」「日本人にとっては」「朝鮮の人にとっては」というように、具体的な視点を提示すると話し合いやすくなったであろう。

単元全体を通して、子どもの感想や考えを生かして次の学習課題を決め、次時につなげていくようにした。単元の流れは無理がなくよかったと思う。

単元の中で感想を話し合うところがところどころにあるが、日本の様子がどのように変わっていったかをとらえやすくするために、ノルマントン号事件から日清・日露戦争までの流れを総合的に見て感想を話し合った方がよかったかもしれない。